

平成 30 年 10 月 22 日

関 係 各 位

公益財団法人原子力安全研究協会  
放 射 線 環 境 影 響 研 究 所

原子力規制庁 平成 30 年度放射線安全規制研究戦略的推進事業費  
(放射線防護研究分野における課題解決型ネットワークと  
アンブレラ型統合プラットフォームの形成) 事業  
国際動向に関する情報共有のための報告会  
開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

公益財団法人原子力安全研究協会の諸活動に関しまして、平素は種々ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では、原子力規制庁の「放射線防護研究分野における課題解決型ネットワークとアンブレラ型統合プラットフォームの形成」の一環として、産学連携による放射線防護の課題解決に向けた議論を行い、異分野間での議論を可能にするアンブレラ型統合プラットフォーム（以下「アンブレラ」という。）を形成するため、標記報告会を実施いたします。

つきましては、本報告会に関係者のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 主 催：原子力規制委員会、量子科学技術研究開発機構
2. 対 象 者：アンブレラ関係者
3. 募集人員：100 名程度
4. 日 時：平成 30 年 12 月 19 日（水）13:00～17:00
5. 場 所：グランパークカンファレンス 401 ホール  
(東京都港区芝浦 3 丁目 4-1 田町グランパーク プラザ棟 4 階)
6. 受 講 料：無料

7. プログラム :

時 間	内 容
13:00~13:05	開会 佐藤暁 (原子力規制庁)
13:05~13:35	講演 「IRPA の活動と放射線防護研究の最近の動向」 講師 : 吉田浩子 (東北大学)
13:35~14:05	講演 「IARR の活動と放射線影響研究の最近の動向」 講師 : 島田義也 (量子科学技術研究開発機構)
14:05~14:25	講演 「UNSCEAR における研究のニーズ」 講師 : 明石真言 (量子科学技術研究開発機構)
14:25~14:45	講演 「ICRP における研究のニーズ」 講師 : 甲斐倫明 (大分県立看護科学大学)
14:45~15:00	休憩
15:00~15:30	報告 国際機関への若手派遣者からの報告 藤淵俊王 (九州大学) 守永広征 (杏林大学) 川口勇生 (量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所)
15:30~16:50	パネル討論 (放射線防護基準策定に資する放射線影響・防護に関する研究) ファシリテーター : 杉浦紳之 (原子力安全研究協会) パネリスト : IRPA 吉田 浩子 (東北大学) IARR 島田 義也 (量子科学技術研究開発機構) UNSCEAR 明石 真言 (量子科学技術研究開発機構) ICRP 甲斐 倫明 (大分県立看護科学大学) IAEA 米原 英典 (原子力安全研究協会) OECD/NEA 本間 俊充 (原子力規制庁) WHO 神田 玲子 (量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所) (IAEA、WHO、OECD/NEA についての研究ニーズの説明含む)
16:50~17:00	閉会 高橋知之 (京都大学)

8. お申し込み方法 :

別紙の参加申込書に必要事項を記入の上、本報告会事務局 (公益財団法人原子力安全研究協会 放射線環境影響研究所) へ、FAXもしくはE-mailにて、お申し込みください。

締切 平成 30 年 11 月 22 日 (木)

## 9. 注意事項

- ・ホール内での飲食は可能ですが、ホワイエ等の共用部分でのご飲食は禁止されています。
- ・当該施設は禁煙です。指定の喫煙所以外での喫煙はできません。
- ・当日は公共交通機関をご利用の上お越しく下さい。

以上

<お問合せ先（事務局）>

公益財団法人原子力安全研究協会 放射線環境影響研究所 横山

住 所：〒105-0004 東京都港区新橋 5-18-7

電 話：03-5470-1994                      F A X：03-5470-1990

Email：yokoyama@nsra.or.jp